

環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



エネルギー基本計画

最近ニュースなどで「エネルギー基本計画」という言葉をよく耳にされることがあると思いますが、一体何？どんな計画？ということで、今回はこの「エネルギー基本計画」について少し知っておきましょう。「エネルギー基本計画」は国のエネルギー政策の土台となるもので、「エネルギー政策基本法」で策定が義務付けられており、3年に1度は見直すことになっています。現在の計画は 2018 年 7 月にまとめられたものなので、今年がその見直し年度になるため、最近よく耳にすることが多いのかもしれないね。

RE100

「RE100」あまり馴染みがないかもしれませんが、2050 年カーボンニュートラル社会を目指すとき知っておきたい言葉です。RE100 とは事業運営に必要なエネルギーを 100%再生可能エネルギーで賄うことを目標に掲げる企業が加盟する国際的イニシアチブ(積極的な取り組みの枠組み)のことで、「Renewable Energy 100%」の頭文字をとって RE100 と呼ばれ、2014 年に始まりました。世界の多くの企業が名を連ねています。

ちなみに日本では、2017 年にリコーが初めて参加を表明し、2021 年 6 月現在 55 社が名を連ねています

ひとこと



会報誌を作っているこの時期、いろいろな所から総会開催の案内が届きます。いずも同じで、オンラインでの開催というところが多くみられます。

世の中の「普通」が、今までと大きく変わってきたように感じられます。リモートワークしかり、マスク着用やオンライン会議などもそうですが、これらが「普通」の社会って……。なんだかなあって思うのは古い人間かも？リモートワークやオンラインもいいけれど、やっぱり集まって、顔を合わせて、あーだこーだと意見を交わすほうがいいなと思うのですが皆さんはいかがですか？



ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第 70 号

令和 3 年 7 月 1 日発行（年 4 回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町 5 番 1 号

サブリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

E メール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <https://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：伊丹 均 編集責任者：丸井 晶子

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO. 70
夏号

令和 3 年
(2021 年)

環境ひらかた



令和 3 年度通常総会 今年も少人数で開催

去る 6 月 5 日 令和 3 度の通常総会をサブリ村野 2 階「環境保全研修室」にて開催しました。昨年来のコロナの影響で、今年も「一堂に会しての総会」はできませんでした。

会員の皆様には、書面議決権の行使、もしくは委任状での参加をお願いし、出席を制限して行いました。勿論交流会も中止せざるを得ませんでしたが、交流会は多くの会員さんと交流できる貴重な機会でもあり、一日も早くコロナが収束し、みなさんと集える日が来ることを祈るばかりです。

尚、総会議案は第 1 号から第 5 号まで、すべて原案通り採択されたことを報告致します。



役員の任期は 2 年なので今年度は改選期ではありませんが、運営委員の任期は 1 年となっており、2021 年度の運営委員が 5 月 14 日の理事会で下記の方々が承認されましたのでご紹介します。

伊丹 均 市山 二郎 大倉 伸之 阪口 重樹
末岡 妙子 豊高 勝 丸井 晶子 宮村 隆喜

*****目次*****

令和 3 年度通常総会 今年も少人数で開催	P 1
コロナ禍に負けず頑張っています	P 2・3
部会報告	P 4
環境ミニ講座・環境ティールーム	P 5
お知らせコーナー	P 6
環境トピックス VOL. 36	P 7
環境ミニ知識	P 8





コロナに負けず頑張っています！

2021年度事業としてすでに実施したものが、いくつかあります。ここでご紹介します。

緑のカーテンモニター受付&苗渡し

毎年枚方市が「緑のカーテンモニター募集」を行っています。ひらかた環境ネットワーク会議では、枚方市から本事業の業務委託を受け、受付及び苗の配布、そして報告書回収・集計等を行っています。

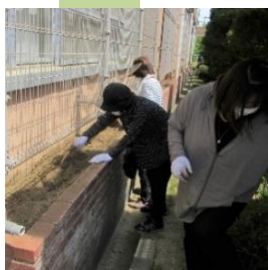
今年も5月7日から受付をスタートし、10日から苗の配布をしました。150名の定員に対し、159名の申し込みがありましたが、幸い十分な数の苗があったため、全員にお渡しすることができました。緑のカーテンの成果(?)報告が楽しみです。



My ゴーヤづくり

今年もサプリ村野の情報コーナー下の花壇で省エネ対策の一環としてゴーヤを育て緑のカーテン作りをしています。緑のカーテンもさることながら、夏の収穫も楽しみです。

「家では育てる場所がない」「家でゴーヤを育てたいけれど育て方がいまいち不安」「家でも育てるけれどみんなと一緒に育てたい」といった方など、総勢16名で緑のカーテン作りを楽しんでいます。4月の土づくりに始まり、10月のネット外しまで楽しみは続きます。



環境ティールーム ～自然の力を暮らしの中に～

コロナでなかなか集まらない中「自然の力を暮らしの中に」をテーマに話し合いました。昔から利用されてきたお日様の力や、風の力、水の力など「なぜ今あまり利用されなくなったのだろうか?」「現在の私たちの暮らしに取り入れられるものはないのかな」など、意見を出し合いました。

アスファルトで覆われた道路、密集した住宅事情、減りゆく緑等々、ヒートアイランド現象を引き起こす要因はいっぱいあるけれど、打ち水や、太陽熱の利用、風鈴や団扇など「出来るだけ自然の力も活用した暮らしを心掛けたいね」などの話で盛り上がりしました。

環境トピックス

Vol. 36

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回は、「プラスチック資源循環促進法」成立と「マスクごみ」の問題です。

◆「プラスチック資源循環促進法」成立

昨年7月、レジ袋が有料化された。その折「レジ袋だけ有料化しても意味がない」「レジ袋だけ削減してもしょうがない」などの声が多く聞かれ、レジ袋の有料化をきっかけにプラごみについての関心が高まり、プラごみの削減に繋がることが期待されるといった声はあまり聞かれなかった。実際朝日新聞社が当時行ったアンケートでも、約55%の人が意味がないと回答していた。

それから間もなく1年。つい先日(6月4日)プラスチック資源循環促進法が成立した。これにより、無料で配っているプラスチック製の使い捨てスプーンやフォークなどの有料化や、代替素材への切り替えが義務付けられることとなったが、これらはほんの一例に過ぎない。

プラスチック製品の削減やリサイクルの促進にむけ、来春にも施行される見通しだ。しかし自治体における分別の強化や、メーカーには設計や製造の段階から削減を求めるなど、細部についてはまだまだ決まっていない部分もあり課題もある。私たちの暮らしと直結する事柄だけに注視していきたいものである。

◆膨大な量の「マスクごみ」が海へ その数なんと15億枚

新型コロナウイルス感染対策としてマスクは欠かせない。そのマスクだが、飛沫防止効果が高いということで、多くの人が不織布マスクを着用している。この不織布マスク、実はその多くは、ポリプロピレンやポリウレタン、ポリエステルなどのプラスチックでできていることは意外に知られていないのではないだろうか。このような化学繊維は自然界で分解されにくく、分解されるには450年ほどかかるともいわれている。

このほど、海に流れ出たマスクごみは「1年間に15億枚」になると環境団体が試算したと報道された。このような膨大な量の「マスクごみ」は当然自然界にも大きな影響を与えるであろうことは明白だ。実際世界各地から、「マスクの耳ひもが爪に絡まったハヤブサ発見」「ペンギンの胃からマスクが見つかる」などの事例も報告されている。さらにこれらのマスクはいずれマイクロプラスチックとなって更なる問題を引き起こす原因となるのである。

たかがマスク1枚と侮るなかれ、きちんとルールに従った廃棄をお願いしたい。



部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育部会



今回は、コロナ禍で入会された会員の方の投稿をご紹介します

1年以上に渡り「新型コロナウイルス」の感染拡大が続き、緊急事態宣言が発令される中、すべての活動がストップし、何かないかと枚方市役所を訪れた際、『ひらかた環境ネットワーク会議』のパンフレットを目にし、早速「環境ミニ講座」と「くらわんか塾」に参加させてもらいました。それをきっかけに環境ネットワーク会議の会員になり、環境教育部会に所属、そして、部会の事業の一つ「環境出前授業」でさだ西小のエコクラブや西牧野小での出前授業に参加するようになりました。

「3密を守り、不要不急の外出は控えましょう」と家の中に閉じ込められていた私にとって、そこでのパワーポイントを用いて視覚に訴え、実験を取り入れた授業などは大きな刺激となりました。また、出前授業で元気のいい子ども達に接することが出来、パワーをたくさんたくさんもらいました。そして「よくわかった！」



「すごく勉強になった！」という感想を聞くと嬉しくなります。
コロナ禍が無ければ、この会に参加することはなかったでしょう。縁とは不思議なものです。



この活動を通じてたくさんの方を知ることが出来、以前から私が所属している枚方山野草会の『春の山野草展示会』（4/16～18）にも足を運んでくださいました。自然を大切にするということでは相通じるものがあります。地球温暖化、豪雨災害、新型コロナウイルス、その根本の原因は環境破壊問題にあります。一人でも多くの方がこのことに気付き、身近な実行できることから取り組みを始めないと私たちの生活・健康がおびやかされ、生命の危機を迎えてしまいます。

長引くコロナ禍が早く収束し、普通の生活を一日でも早く取り戻すことが出来ることを願っています。一人の力は小さいけれど、みんなの知恵を出し合えばたくさんの課題を解決できるということをみんなに、特に未来を背負って立つ子ども達に気付いてほしいものだと思います。



「環境ミニ講座」「環境ティールーム」

2021年度前期予定が決まりました

※詳しくはチラシをご覧ください。

環境ミニ講座

～エコクッキング～ **わらび餅作り**
茶がら入りのわらび餅を作ります！

8/22 (日)



～天の川探検隊～ **天の川で遊ぼう**

8/7 (土)



網で魚を捕る！河原のヨシで舟を作る！



～わがまち魅力発見～ **天の川ウォーク**

9/30 (木)

交野市の“星の里いわふねの森”の浸水空間から枚方市村野まで約6kmコース



環境ティールーム

第2回

7/8 (木)

よく見聞きするけど「エシカル」ってなあーに？



第3回

9/9 (木)

小水力発電の可能性を考える



第4回

10/14 (木)

マイタイムラインを作ってみよう！





お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

新企画！ プラごみダイエット 体験談&実例募集



近年大きな問題となっているマイクロプラスチック。そもそもは、きちんとルールにのっとって廃棄されないことで引き起こされているところが大きいのですが、とは言え、出来るだけプラスチックの使用は控えたいものです。

そこで昨年のアイデア募集に引き続き今年度はプラごみダイエット生活第2弾として「体験談&実例」を募集します！

チラシをご覧くださいどんどんご応募ください。お待ちしております♪

※チラシは市内公共施設に設置配布しています

今年もスタートしました～「ひらかたみんなでエコ宣言」



みなさんは、普段から環境にやさしい行動をとっていますか？

環境にやさしい行動って、具体的にどういう行動でしょうか？

「エコ宣言」は、9の項目をあげ、自分が出来ているか1週間チェックするものです。そして、出来ていない項目の中から、「この一年はこの行動を頑張ろう」という項目を選ぶ＝「エコ宣言」するという取り組みです。応募用紙は、図書館や生涯学習センター、市役所受付・分室、当団体事務所（サプリ村野 環境情報コーナー内）にあります。

参加者募集！環境家計簿「我が家のエコノート」

「我が家のエコノート」とは簡単に付けられる環境家計簿の事です。

毎月のガス・電気・水道の公共料金の使用量や金額をノートに記入し、ご家庭で使用しているエネルギー量や CO2 の排出量を把握することにより省エネルギーにつなげます。

とっても簡単にできますので一度チャレンジしませんか？

素敵な景品ももらえますよ。

応募用紙は、枚方市内の公共施設、枚方市環境保全課、当団体事務局等に設置しております。



2021 年度事業計画の中からいくつかご紹介します

自然エネルギー学校 2021 を開講

「2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、私たちに何ができるのか、私たちに何が求められているのかを気づき知るために、講演会、学習会、見学会を実施する」とした計画に則り、今年7月に出されるであろう「エネルギー基本計画」についての学習会を9月頃に開催予定しています。詳細は未定ですが、国のエネルギー政策について計画を知り考える機会になればと思っています。



「くらわんか塾」を開講

環境教育部会事業の一つである「出前授業」の担い手を養成するという目的をもって開講しますが、社会貢献や、自己実現をしたいという方にも受講してもらえる講座になっており、座学一日、見学会半日の予定で実施します。

詳細は枚方市広報やチラシにてお知らせしますので、ぜひご覧くださいお気軽にご参加ください。

公共交通利用促進事業として「バス!のってスタンプラリー」の実施

コロナの影響で一昨年の秋を最後に、スタンプラリーは実施できていませんが、昨年度は、「わたしたちのまちの電車・バスの写真募集」をしました。今年こそはスタンプラリーをしたい！との思いで、今年度はコロナのこともあるので三密を避け、一日イベントではなく長期で参加できる形式で実施する予定をしています。

実施日は現時点では10月1日から翌年1月10日までを予定しており、緊急事態宣言が発令されていないことを願っています。

